

元氣ふしん子

健康に関する情報をお届けします

赤ちゃんサロン

育児真っ最中のお母さんお父さん、子育てを楽しんでいますか。口でいうのは簡単ですが、なかなか難しいですよね。子育てを楽しむポイント、一人で頑張りすぎず、周りの人に上手に助けってもらいながら、子どもの成長を見守

るゆとりや楽しさを持つことではないでしょうか。お母さんを助けてくれる人や相談できる人がいると、子育ての不安は軽くなりますよね。

そこで、赤ちゃんサロンへの参加はいかがでしょうか。保健センターや各地区の児童館では、1歳前の赤ちゃんを連れて気軽に集まれる「赤ちゃんサロン」を開催していま

す。ここでは、お母さん同士の交流だけでなく、保健師や児童館の先生などのアドバイスを聞くこともできます。また、ボランティアによる絵本の読み聞かせなど、親子で楽しい時間を過ごせます。

赤ちゃんと遊んだり、他のお母さんや子育て経験のある先輩と交流をすることで、気持ちホッとするものです。お母さんにゆとりがあると赤ちゃんもたくさん笑ってくれ

て、子育てが楽しくなると思いますよ。

日程や場所は、広報がまごおり毎月15日号の「遊びに思いでよ児童館へ」と「健康力レンダー」をご覧ください。スタッフ一同お待ちしております。



ジューデイの見たまま感じたまま

蒲郡市国際交流員*ジューデイ・ワシ

男女共同参画について

私は昔から女性と男性が平等になっっている社会を望んできました。アメリカでは「glass ceiling」というフレーズがあります。直訳すると、「ガラスの天井」という意味ですが、どんなに優れても、



女性だから上司になれないという意味です。アメリカの会社では、だいぶよくなってきました。でも、日本ではまだ珍しいかなと感じます。

先日50周年の式典でこんなことがありました。蒲郡の姉妹港であるギズボーン市から4人の来賓がおみえになりま

した。ギズボーン市長と奥様、商工会議所会頭と議員というメンバーでした。そこで、会頭に挨拶を頼もうとしている時、担当者は当然のように、男性の方を指していました。しかし、会頭は女性だったのです。私は、それをみて、心の中でずっと怒っていました。私にとって、会頭が女性であることは自然なことなのに、男性と決めつけていたからです。

私は、日本でも上司が女性

であることが自然であるようになることを望みます。私のいる企画調整課では、男女共同参画を担当しています。

みなさん一緒に平等な社会をつくりましよう。



左が会頭、真ん中が市長の奥様